



石巻子ども夏休み学習支援教室に 延べ 300 人以上参加

2013年7月22日～7月26日、YMCA 石巻支援センターから徒歩5分の仮設商店街集会所にて、被災地夏休み子ども学習支援プログラム「立町いしのまきっこ広場」を行いました。5日間、午前・午後それぞれ2時間半のプログラムで、ボランティアが子どもの宿題の指導と、レクリエーションを行い、5日間で市内4つの小学校から延べ307人の子どもたちが参加をし、また東京YMCA 社会体育・保育専門学校生ら13人のボランティア・スタッフが関わりました。

このプログラムは昨夏と、今春に引き続き3回目、地元小学校の校長先生や保護者からぜひ今後とも継続してほしいとの要望があり、今夏も継続開催となりました。

プログラムの前半1時間は勉強の時間です。子どもたちは分からない箇所があれば、YMCAのボランティアに教えてもらいます。また、集中力が続かない子どもがいれば、ボランティアが側にいて声かけをし、時間内にできる限りの宿題を終えられるよう、サポートをします。特に仮設住宅に住む子どもたちは家に学習機が無いので、この機会を使って懸命に宿題に取り組む様子がとても印象的でした。



勉強の時間。ボランティアの青年が子どもの学習のサポートをします。



遊びの時間。勉強の合間に近くの公園で思いっきり遊びます。



最終日の記念写真。「今度はいつ来るの?」「また会おうね!」という子どもたちからの声。

プログラム後半の1時間半は、子どもたちお待ちかねの遊びの時間です。近くの公園で野球やボール遊びをしたり、商店街の教室の中で理科の実験をしたりして遊びます。普段、学校の実習などで子どもたちと接しているYMCAの学生ボランティアたちは、経験をいかして石巻の子どもたちとも信頼関係を築き、限られた時間の中で思いっきり楽しく遊びました。

また、同時期に近隣の小学校でプール指導ボランティアも並行して行われました。午前は学校のプールで、午後は学習支援教室などで、一日中YMCAの学生と接する子どもも多くみられました。

参加した子どもの6割は、YMCAの近くの小学校の子どもたちです。この児童の4人に1人は家が津波の被害を受け、親を亡くされた子どもも数人います。また、仮設住宅に移った家庭もあり、中には隣の東松島市内の仮設住宅(会場から5キロ以上離れている)に住みながらも、「夏休みでも友達やYMCAのお兄さんお姉さんと遊びたい」ということで、毎日遠くから通ってきてくれた子どもたちもいました。

今回のプログラムは、子どもの勉強のサポートのみならず、子どもの「居場所作り」を意図して行いました。震災で辛い経験をした子どもたちの心が、青年との関わりをとして少しでも癒やされることを願っています。

東日本大震災復興支援募金

- ・ゆうちょ銀行(郵便振替)
- 振替口座:00120-7-714728
- 名義:公益財団法人 東京 YMCA
- ・銀行振り込み
- みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
- 三井住友銀行神田支店 普通 7656469
- 名義:公益財団法人 東京 YMCA
- ※「東日本大震災」とお書き添えください。